



2024年5月期(第38期) 第2四半期決算

株式会社ウェザーニューズ
2023年12月28日

WN **weathernews** *Always WITH you!*

1. 2024年5月期 第2四半期決算概要
2. 2024年5月期 業績予想
3. 2024年5月期 取り組み状況

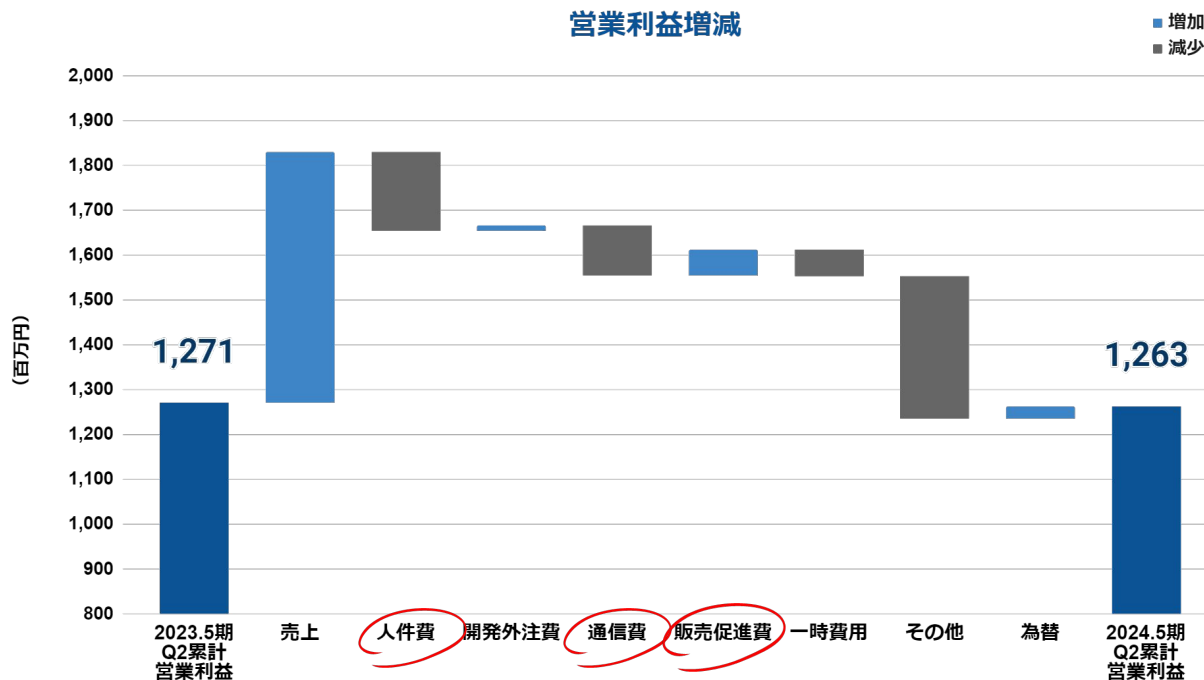
1. 2024年5月期 第2四半期決算概要 実績サマリ

【売上】 11,150百万円(前年同期比6.3%増):モバイル、陸上、航海気象事業が売上成長を牽引
【営業利益】 1,263百万円(前年同期比 0.7%減):一時費用(外注費等)が発生したものの横這い

単位:百万円	2023.5 Q2累計 実績	2024.5 Q2累計 実績	前年同期比
売上高	10,486	11,150	+6.3%
営業利益	1,271	1,263	△0.7%
営業利益率 (%)	12.1	11.3	△0.8Pt
経常利益	1,310	1,284	△2.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	921	1,018	+10.4%
EPS (円)	83.7	92.2	+8.5円
為替 (JPY/USD) (円)	139.8	145.8	+6.0円

営業利益の増減

- 海外事業に関わる人財投資、およびSaaSプロダクト開発をはじめとするIT開発人財の強化を実施
- クラウドベースのサービス開発環境の拡大に伴い通信費が増加
- 気象情報のニーズが高まる状況を見極めた戦略的な広告投資を実施し、前年比で販売促進費は減少



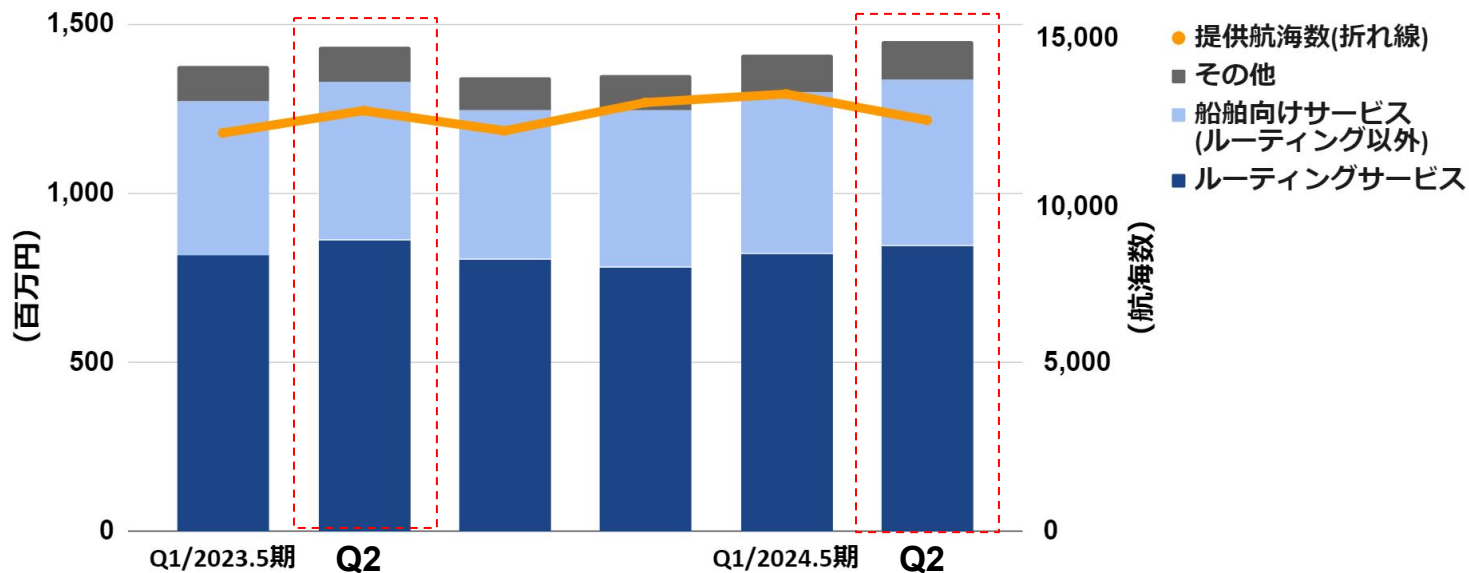
1. 2024年5月期 第2四半期決算概要 事業別売上

単位:百万円	2023.5 Q2累計 実績	2024.5 Q2累計 実績	前年同期比 (%)	事業状況
航海気象	2,810	2,863	1.9	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ船の新造船竣工をはじめとする船舶供給量が回復する一方、バルク船市況の需要低迷などを背景に全体的に荷動きは軟調に推移 ・欧州のサービス提供数が減少するも環境運航支援サービスのOSR-eを拡販。為替の影響もあり増収
航空気象	645	617	△4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・エアライン市場において、水際対策の終了や行動制限の撤廃により国内・国際線ともに旅客数の回復が継続 ・当社においても国内外エアライン市場の売上が回復するも、前年同期比で減収※ <p>(※前期第1四半期における、連結決算日との間に生じた重要な取引に関わる必要な調整に伴う一時的な影響を除くと増収)</p>
陸上気象	1,499	1,625	8.4	<ul style="list-style-type: none"> ・極端気象発生時の拠点防災や輸送影響など、物流における安全確保の観点で気象情報のニーズが高まる ・高速道路市場において、地域特性に基づいた気象情報の提供により顧客が拡大し増収
環境気象	474	582	22.9	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の再エネ市場の発展や日本の台風、豪雨、猛暑等で、エネルギー気象全般のニーズが高まる ・日本のエネルギー市場向けに気象予測、再エネ予測、電力需要予測サービスの拡販により増収
その他BtoB	17	58	227.5	<ul style="list-style-type: none"> ・気候テック事業において、国内企業を中心に気候変動リスク分析サービス「Climate Impact」を拡販
モバイル・インターネット気象	3,951	4,301	8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビCMやネット広告などの投資を継続した結果、アプリ利用者数が増加 ・日本国内において気象トピックへの注目が高まる中、アプリコンテンツの充実を通じてユーザーの満足度や活用度が向上し、サブスクリプションサービス売上及び広告収入ともに増収
放送気象	1,086	1,101	1.4	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ局等の主要顧客の事業環境の構造的な変化に伴いコスト見直しの動きが続く一方、防災報道において気象情報の重要性がますます高まる ・当社においては放送局向けシステムの更新に伴い増収

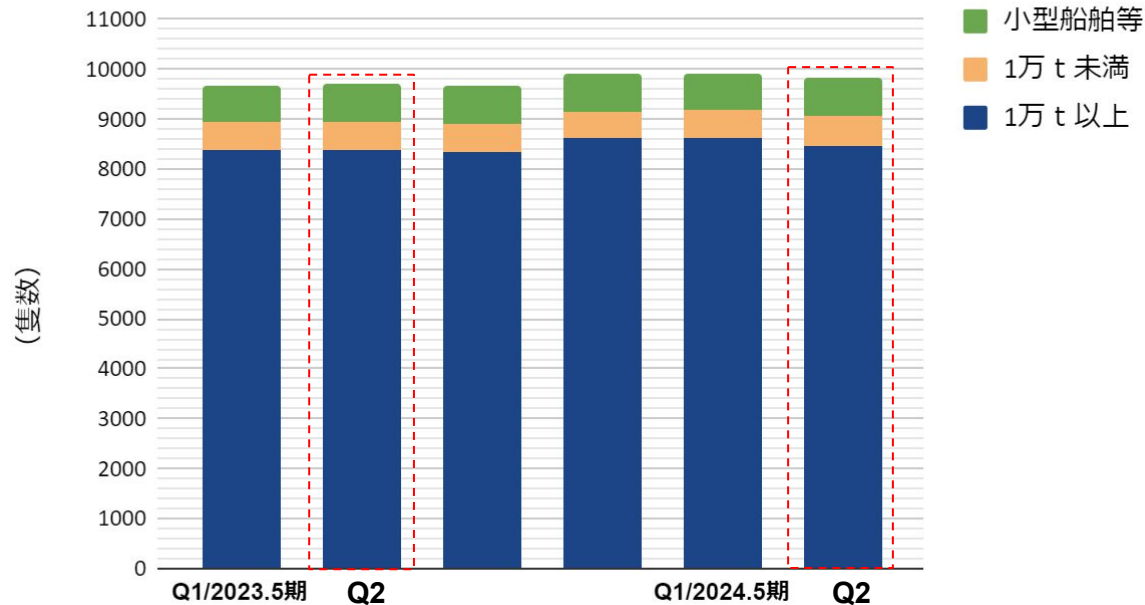
【市況】 船舶供給量の回復やバルク船市況の需要低迷を背景に荷動きは軟調に推移

【業績】 今期Q2において欧州顧客の提供航海数が一部減少するも、OSR-e(環境運航支援サービス)の拡販と為替影響で増収

売上高および提供航海数の四半期推移

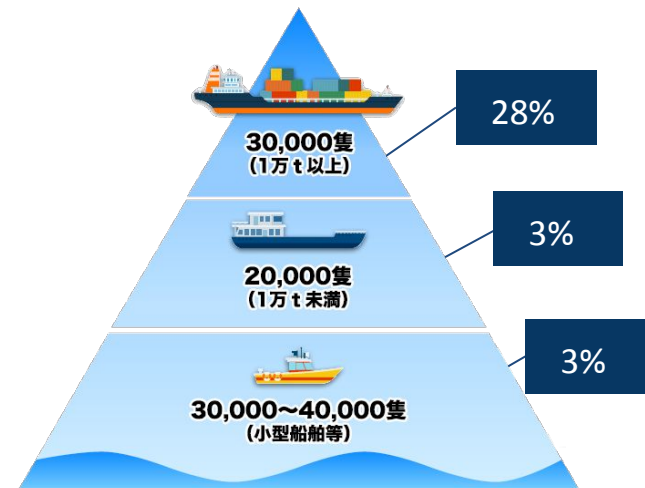


サービス提供隻数



当社サービスを利用している隻数
(複数サービス利用時も1隻カウント)

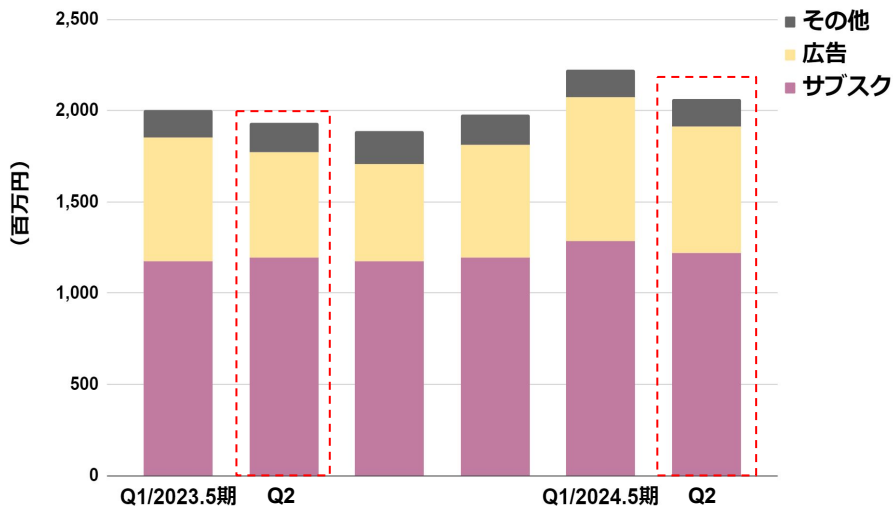
航海気象事業のTAMと 当社占有率(2023.5期Q2時点)



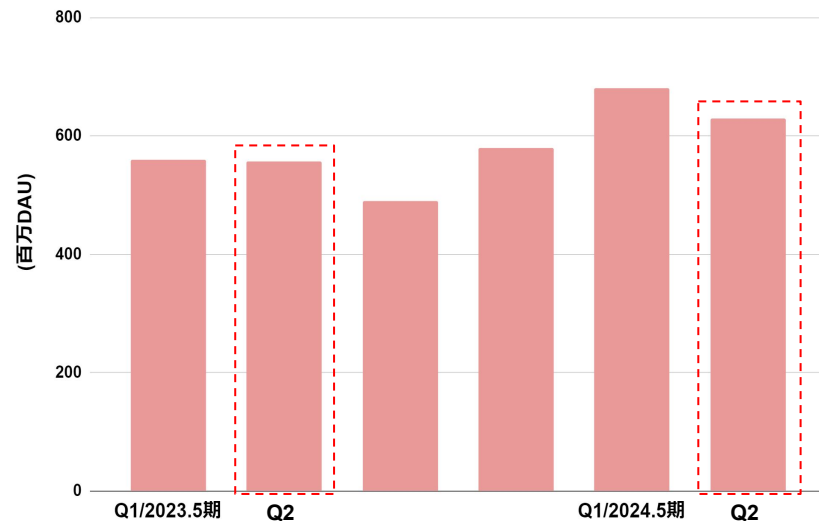
中期経営計画TAM別の隻数

- 広告投資による認知度向上で、サブスクリプション売上及び広告収入が増加
- コンテンツ充実やUIの改善などで前年同期比で累積DAUが増加

売上高 四半期推移



累積DAU 四半期推移



2. 2024年5月期 通期業績予想 業績予想サマリ

■ 期初計画から変化なし

【売上】 22,500百万円(前期比 6.6%増)

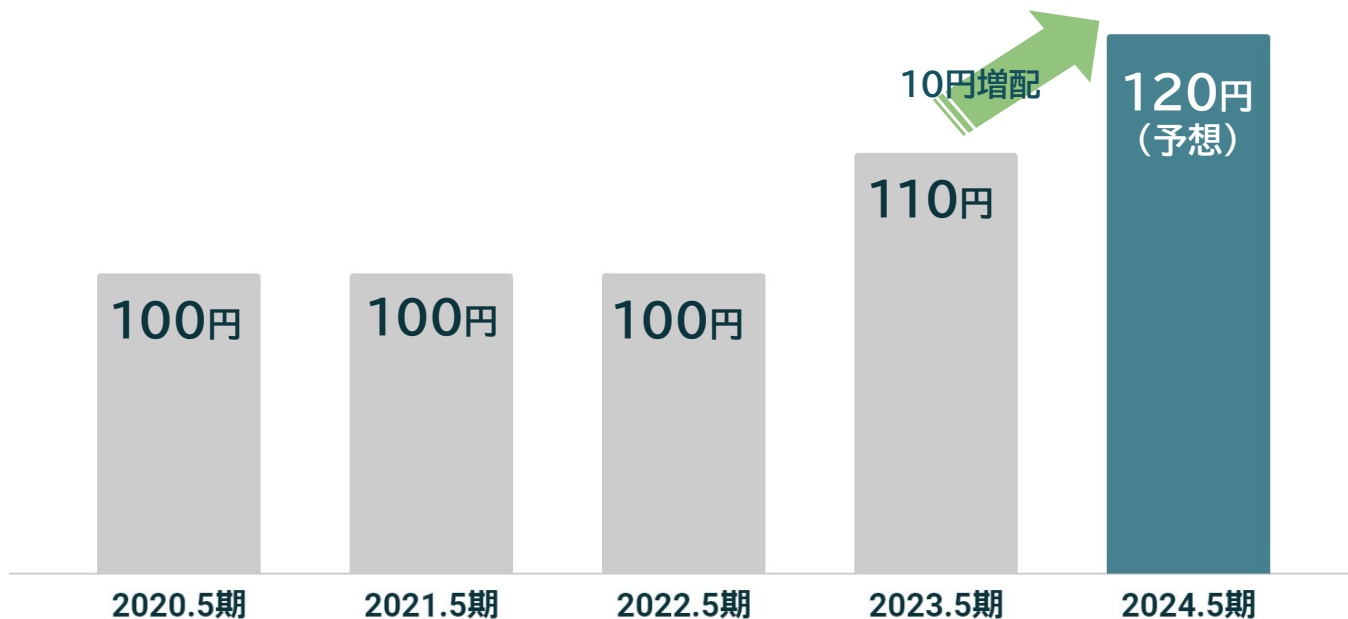
モバイル・インターネット事業の成長継続、既存BtoB事業の拡大で増収を計画

【営業利益】 3,500百万円(前期比 7.5%増)

広告投資、海外展開に向けた人財投資、データ・クラウドへの投資を継続

単位:百万円	2023.5実績	2024.5計画	前期比
売上高	21,114	22,500	+6.6%
営業利益	3,256	3,500	+7.5%
営業利益率 (%)	15.4	15.6	+0.2Pt
経常利益	3,284	3,500	+6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,398	2,500	+4.3%
EPS (円)	217.7	226.5	+8.8円
ROE (%)	13.7	13.2	△0.5Pt
為替 (JPY/USD) (円)	135.5	130.0	△5.5円

- 「高貢献、高収益、高分配」の考えのもと、中長期にビジネスを推進する戦略的事業投資を優先しつつ、長期安定配当として株主資本配当率(DOE)3%程度を基準とし、最適な自己資本水準及び投資環境、利益等を総合的に考慮して配当を決定
- 当期(2024.5期)は1株当たりの年間配当を120円とする予定





APPENDIX

単位:百万円	2023.5 Q2 実績	2023.5 期末 実績	2024.5 Q2 実績
流動資産	15,877	17,377	17,460
固定資産	3,603	3,602	3,591
資産合計	19,481	20,979	21,052
流動負債	1,846	2,300	1,803
固定負債	107	278	254
負債合計	1,954	2,579	2,058
純資産合計	17,527	18,400	18,994
自己資本比率 (%)	89.5	87.3	89.8
1株あたり純資産 (円)	1,582.2	1,661.2	1,711.9

単位:百万円	2023.5 Q2 実績	2024.5 Q2 実績	前年 同期比
売上高	5,261	5,570	+5.9%
営業利益	799	847	+6.1%
営業利益率 (%)	15.2	15.2	+0.0Pt
経常利益	784	840	+7.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	552	589	+6.7%
EPS (円)	50.1	53.4	+3.3円
為替 (JPY/USD) (円)	144.3	149.1	+4.8円

Appendix
事業別売上 (2023年5月期Q2 vs 2024年5月期Q2)

単位:百万円	2023.5 Q2 実績	2024.5 Q2 実績	前年同期比
航海気象	1,432	1,452	+1.4%
航空気象	311	316	+1.6%
陸上気象	765	823	+7.6%
環境気象	249	296	+18.9%
その他BtoB	10	36	+260.0%
モバイル・インターネット気象	1,940	2,072	+6.8%
放送気象	554	576	+4.0%

Appendix 事業別売上 四半期推移

単位:百万円	2023.5期				2024.5期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
航海気象	1,378	1,432	1,342	1,351	1,411	1,452
航空気象	334	311	301	289	301	316
陸上気象	734	765	908	795	802	823
環境気象	225	249	300	270	286	296
その他BtoB	7	10	11	22	22	36
モバイル・インターネット気象	2,011	1,940	1,891	1,987	2,229	2,072
放送気象	532	554	564	597	525	576



当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。